

17. ホエーラーズ湾

南緯62度59分、西経60度34分
デセプション島、フォースター
泊地

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide



主な特徴

- 以下の第71南極史跡記念物（HSM71）
 - ノルウェーのヘクトール捕鯨基地の残骸
 - 海岸沿いにある捕鯨船員の墓、および
その他捕鯨関係の残骸
 - 遺棄されたイギリスの「B基地」
- ネプチューンズ・ウィンドウ
- ロナルド丘陵
- 第4南極特別管理地区デセプション島の一部



概要

地形

ホエーラーズ湾は小さな入り江で、ネプチューンズ・ベローズを超えて直ぐの北東方向に位置している。ホエーラーズ湾には緩やかに傾斜する半円形の海岸があり、この火山灰でできた約2kmの海岸は北西のペンフォールド岬から南東のカテドラル岩山まで延びている。湾の西側には、地熱活動により温められたラグーン（礁湖）、クローナー湖がある。ロナルド丘陵（103m）はこのラグーンから北へ800mの位置にあるが、すぐ北西には濃い灰色の火砕岩が層を成す険しい氷河の崖がそびえたつ。ホエーラーズ湾の南東側にあるカテドラル岩山が崩壊した部分は、ネプチューンズ・ウィンドウと呼ばれる。とりわけ重要なものは、捕鯨基地の後方の低い河成段丘、および1969年の噴火による火山泥流（土石流）の痕跡である。

動物相

繁殖が確認されている種：ナンキョクアジサシ、マダラフルマカモメ、ミナミオオセグロカモメ、トウゾクカモメ、アシナガウミツバメ
上陸する種：カニクイアザラシ、オットセイ、ウェッデルアザラシ
沖合の種：ヒョウアザラシ
休憩する種：ズグロムナジロヒメウ、ヒゲペンギン、ジェンツーペンギン、サヤハシチドリ

植物相

捕鯨基地の東ではスコリアの裂け目で地熱活動が活発なため、蘚類および地衣類が生長し、同様に木材、鉄およびレンガでできた構造物や崖に、そしてカテドラル岩山およびネプチューンズ・ウィンドウの大型巨礫にも蘚類、地衣類が生育する。希少かつ注目すべき種も存在する可能性がある。カテドラル岩山付近では、ナンキョクコメヌスキ、およびサルオガセ属、オオロウソクゴケ属、ダイダイゴケ属などの地衣類がみられる。

その他

ホエーラーズ湾岸に残る建築物、構造物、その他の人工物は、1906年から1931年にかけてのものであり、南極での捕鯨に関して最も重要な意味をもつ遺物である。その他の建築物、構造物、人工物としてはイギリスの「B基地」があり、本地区の科学調査活動および航空測量の歴史（1944から1969年まで）を知る重要な要素となっている。当該サイトは第71南極史跡記念物に指定されている。

訪問者の影響

既知の影響

歴史的構造物への落書き。歴史的人工物の持ち去り。ネプチューンズ・ウィンドウに至る小道の浸食。ベイリー岬とホエーラーズ湾とを結ぶ小道の植生の浸食および踏圧。

潜在的影響

歴史的人工物の持ち去りや損傷。植生の踏圧。小道の浸食の広がり。火災。
船舶運航（投錨・停泊、汚染物質の放出、海運事故など）による海岸周辺の損傷。

17. ホエーラーズ湾

南緯62度59分、西経60度34分
デセプション島、フォースター
泊地

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide



上陸要件

船舶*

最大乗客数：500名

同時来島可能船舶数：1隻

注釈：来島船舶は一日あたり3隻までとし、そのうち乗客が200名を超える船舶は2隻まで。

*船舶の定義は、13人以上の乗客を乗せた船とする。

訪問者

同時に上陸・滞在できる訪問者数上限（探検ガイドとリーダーを除く）：100名

ガイド1名あたりの訪問者数：20名

注釈：重要な場所にはガイドが同行し、特にASP140（第40南極特別保護地区）の他、ビスコーハウス、燃料タンク、ネプチューンズ・ウィンドウなどには立ち入らないようにする。

訪問区域

上陸区域

小型ボートから上陸する場合は浮棧橋の前および隣接区域が推奨されるが、当該サイトに鳥類やアザラシがいると上陸ができない。

第二候補サイトとして、捕鯨基地のボイラーの正面付近を使用することができる。

閉鎖区域

第40南極特別保護地区（ASP140）デセプション島の一部、サイトK（ロナルド丘陵からクローナー湖）。サイトKは (i) クローナー湖と湖岸線から約75～150mの範囲の地域、(ii) ロナルド丘陵の南に隣接する円形のクレーター盆地、(iii) この二つの地点を結ぶ浅い小溪谷から成る（地図参照）。サイトKへの立ち入りは禁止されている。建造物、およびボイラー、タンク等のその他構造物への立ち入り・使用は、管理目的や緊急避難の場合を除き禁止されている**。

捕鯨基地の北には、地質学的に重要で、かつ崩れやすい河成段丘がある。

カテドラル岩山下方のがれ場斜面は落石が起きやすく、訪問者はここを横断しようとしてはならない。

** サイト訪問は、訪問者の自己責任において行うこと。当局は個人の負傷および個人所有物の損害に一切責任を負わない。

ガイド同行での歩行（可能）区域

ネプチューンズ・ウィンドウへの訪問者は、給水船の海側を海浜沿いに進むこと。ただし、海岸に野生生物の群れがいる場合は、代替ルートとして、給水船を過ぎた時点で内陸側へ斜め方向に進む。その際、遺物を踏まないように気を付けること。その後は既存の道に沿って1列で「ウィンドウ」まで坂を上っていく。ネプチューンズ・ウィンドウのへりは崩れやすく傾斜も急であるため、細心の注意を払うこと。海浜までは同じ道を歩いて戻ること。

ロナルド丘陵への訪問者は、航空機格納庫の北にある尾根を登りロナルド丘陵の頂上に向かう。尾根の西端は傾斜が急で、また壊れやすく浸食を受けやすいため、西端からは離れて歩くこと。帰りも格納庫まで同じルートを通り、それから上陸サイトまで戻ること。

自由散策地区

訪問者はガイドの指示に従った上で、捕鯨基地の海側と海岸を自由に散策することができる。

訪問者の行動規範

陸上での行動

- 水浴び用の穴を掘ってはならない。
- いかなる木製建造物からも5メートル以内に近付いてはならない。崩れてくる破片で怪我をしないよう、全ての構造物から適切な距離を取ること。
- ASP140に立ち入らないように、航空機格納庫の西側には行かないこと。
- 地震モニタリング装置やその他の科学調査機器から少なくとも20メートルは離れること。通常、こうした装置、機器には赤い旗で印が付いている。その他の科学調査機器、マーカー、フィールド倉庫に接触したり移動させたりしてはならない。こうした装置は地震活動、およびその他火山活動の兆候を測定しているものであり、デセプション島リアルタイム監視地震観測網の一部である。地震モニタリング装置も含めデセプション島地震計測装置に関する地図があり、この地図はシーズンごとに更新される。

17. ホエーラーズ湾

南緯62度59分、西経60度34分
デセプション島、フォースター
泊地

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide



- ホエーラーズ湾とベイリー岬の間をハイキングしてはならない。重要な植生地域、特に記録上南極最大のナンキョクミドリナデシコ群落にダメージを与える可能性がある。またこの地域は、急斜面、断崖絶壁、滑りやすい地形という特徴のため、ハイキングは訪問者にとって安全面でのリスクもある。
- 第4南極特別管理地区（ASMA）デセプション島管理計画に従って訪問すること。
- 安全のため野生生物から少なくとも5メートルの安全距離を取り、動物には道を譲ること。鯨の解体作業計画サイトに営巣中のオオセグロカモメからは距離を置くこと。野生生物の行動に何らかの変化が見られた場合は、この距離を増やすこと。
- 鯨油タンク、および燃料タンクに近付く際は注意すること。基礎部分は浸食を受けやすく、タンクが倒壊する危険がある。
- タンクや建築物の中に入ったり、給水船に腰を下ろしたり登ったりしてはならない。サイトにある脆く壊れやすい物全てがHSMの一部であり、こうした物はいずれも踏みつけてはならない。

注意事項

- 訪問計画を立てる際は常に、火山噴火の恐れによる重大な危険性がある点を考慮すること。
- 当該サイトの建造物は全て物理的に状態が悪く、現在も建造物の一部が崩壊したり、崩壊した部分が風で飛ばされる危険がある。建物への立ち入りは安全ではない。建物に近付く際は注意すること。また、建物への立ち入りは禁止されている。尖った物に気をつけること。強風の際にはがれきが飛んでくる危険性があり、いずれの区域にも立ち入らない方がよい。
- 有害物質に注意すること。当該サイトでは、アスベストを含んだ資材が使用されている。
- 氷河水流を横切の際は、石が滑りやすいので注意する。
- シーズン後半は海岸にオットセイがいる可能性があり、オットセイを妨害しないこと。



ホエーラーズ湾訪問（可能）サイト概観。後方はネプチューンズ・ウィンドウ



前方は墓地、後方は狩猟小屋および燃料タンクの遺物

17. ホエーラーズ湾

南緯62度59分、西経60度34分
 デセプション島、フォースター
 泊地

ANTARCTIC TREATY

visitor site guide

